

高等学校 令和8年度（1学年用）教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～E組

教科担当者：（A組：）（B組：）（C組：）（D組：）（E組：）（F組：）

使用教科書：『高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来』第一学習社

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】諸地域の特色と世界の歴史展開に関して理解し、諸資料から情報を調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象を多面的・多角的に考察し課題解決に向けて考える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理・歴史の課題を主体的に解決しようとする態度を養い、自他国の文化を尊重する大切さの自覚を深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・歴史的諸事象に関わる人物や事件名・地名などの単語を大きな歴史の流れの中に組み込んで理解することができる。 ・様々な史資料からデータを読み取ることが出来る。	・諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 ・諸史資料を比較し、その史資料が持つデータの活用方法を考えることが出来る。	・諸史資料から当時の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探ることが出来る。 ・粘り強く学習に取り組み、史資料から必要な情報を読み取ろうとすることが出来る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元「歴史の扉」(1)歴史と私たち 主題学習を通して、日本と諸地域及び世界のつながりを理解させ、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化を考察し、表現できるようにさせる。	・指導事項 砂糖の世界史 ・教材 川北稔『砂糖の世界史』岩波書店 ・その他 プロジェクトによる史資料提示できるようにさせる。	【知識・技能】 ・歴史的諸事象に関わる人物や事件名・地名などの単語を大きな歴史の流れの中に組み込んで理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・諸史資料から当時の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探ることが出来る。	○	○	○	4
	A 単元「歴史の扉」(2)歴史の特質と資料 日本や世界の、様々な地域の人々の痕跡や記録である遺物や文書、画像などの資料から歴史が叙述されていることを理解させ、複数の史資料を比較し異同に着目して、史資料の情報を整理することができるようにさせる。	・指導事項 砂糖の世界史 ・教材 川北稔『砂糖の世界史』岩波書店 ・その他 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・歴史的諸事象に関わる人物や事件名・地名などの単語を大きな歴史の流れの中に組み込んで理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・諸史資料から当時の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探ることが出来る。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	B 単元「近代化と私たち」(1)近代化への問い(2)結びつく世界と日本 交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育などの史資料を活用しながら、それらの情報を読み取り、18世紀の社会の変容を考察し、問いを表現することができるようにさせる。	・指導事項 18世紀の諸革命 ・教材 フランス革命などの史資料 ・その他 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・歴史的諸事象に関わる人物や事件名・地名などの単語を大きな歴史の流れの中に組み込んで理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・諸史資料から当時の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探ることが出来る。	○	○	○	8
	B 単元「近代化と私たち」(3)国民国家と明治維新(4)近代化と現代的な諸課題 18世紀後半以降の日本と日本に影響を与えた国際的な社会情勢を、史資料に基づいて相互に関連させながら、多面的・多角的に考察し、その時期の国際関係を踏まえて、現代的な諸課題を考察することができるようにさせる。	・指導事項 ヨーロッパの諸革命と日本 ・教材 諸革命と日本への影響がわかる史資料 ・その他 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・歴史的諸事象に関わる人物や事件名・地名などの単語を大きな歴史の流れの中に組み込んで理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・諸史資料から当時の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探ることが出来る。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
C 単元「国際秩序の変化や大衆化と私たち」(1)国際秩序の変化や大衆化への問い 国際関係が緊密化していく中で、大衆の政治的・経済的・社会的地位が変化し、生活様式が変化したことを史資料から読み取り、そこから読み取れたことを考察することができるようにさせる。	・指導事項 18世紀後半～19世紀前半に至る国際関係 ・教材 国民国家の形成に関する史資料 ・その他 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・歴史的諸事象に関わる人物や事件名・地名などの単語を大きな歴史の流れの中に組み込んで理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・諸史資料から当時の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探ることが出来る。	○	○	○	6	
定期考査			○	○		1	

